

送受器（車両無線機器用）
(HANDSET)制定 昭和47. 4. 3
改正 平成22. 5. 18

1 総則

1.1 適用範囲

この仕様書は、主として車両無線機に使用する送受器(以下、送受器という。)について規定する。

1.2 製品の呼び方

製品の呼び方は、表 1 による。

表 1 - 製品の呼び方

| 製品の呼び方 | 物品番号 |
|---------------------|-----------------|
| 送受器(車両無線機器用)(JH-N3) | 5965-189-5147-5 |

1.3 引用文書

この仕様書に引用する次の文書は、この仕様書に規定する範囲内において、この仕様書の一部を成すものであり、入札書又は見積書の提出時における最新版とする。

- J I S C 5 4 3 2 電子機器用丸形R01コネクタ
N D S C 0 0 0 2 地上用電子機器通則
N D S C 0 1 1 0 電子機器の運用条件に対する試験方法
N D S Z 0 0 0 1 包装の総則

2 製品に関する要求

2.1 部品・材料・加工方法

部品、材料及び加工方法は、付図 1～付図 8 によるほか、次による。

- a) 部品、材料及び加工方法でこの仕様書に規定のないものについては、N D S C 0 0 0 2 による。
b) 表面に露出しているねじは、特に指定のない限り黒仕上げとする。

2.2 構造・形状・寸法・質量

2.2.1 構造・形状・寸法

構造、形状及び寸法は、付図 1～付図 8 によるほか、細部は承認図面による。ただし許容差のない寸法は、標準を示す。

2.2.2 質量

質量は、0.8 kg以下とする。

2.3 性能

2.3.1 スイッチ動作圧力

スイッチ動作圧力は、スイッチゴムカバーの端で測定し、10.8 N±4 Nでなければならない。

2.3.2 環境条件に対する性能

環境条件に対する性能は、N D S C 0 0 0 2 の付表 4 分類4を適合条件とし、次による。

- a) 耐振性は、NDS C 0002の2.2.1表5の区分A(2)及び区分A(3)による振動試験をそれぞれ1時間行い、破損・緩みなどの機械的損傷がなく、かつ、2.3.3c)の通話動作に異常があってはならない。ただし、振動方向は、任意の一方方向とする。

なお、区分A(3)の場合は、全振幅1 mm 一定とし、せん頭加速度の測定を行わない。

- b) 耐衝撃性は、NDS C 0110の3.2.2の表2地上用電子機器の場合の区分Aによる衝撃試験を行い、破損・緩みなどの機械的損傷がなく、かつ、2.3.3c)の通話動作に異常があってはならない。落下方向は、コード側を下方にして垂直、スイッチ側を上にして水平及び送・受話口を上にして水平の3方向で、各方向1回落下とする。この場合接続コードは、握り部に適宜な方法で巻き付ける。また、試験の目的を損なわない程度に薄布を使用して保護してもよい。
- c) 耐熱耐寒性は、NDS C 0110の3.6.2による温度試験を行い、2.3.3c)の通話動作に異常があってはならない。ただし、NDS C 0110の図3にかえて、次の図1を適用する。

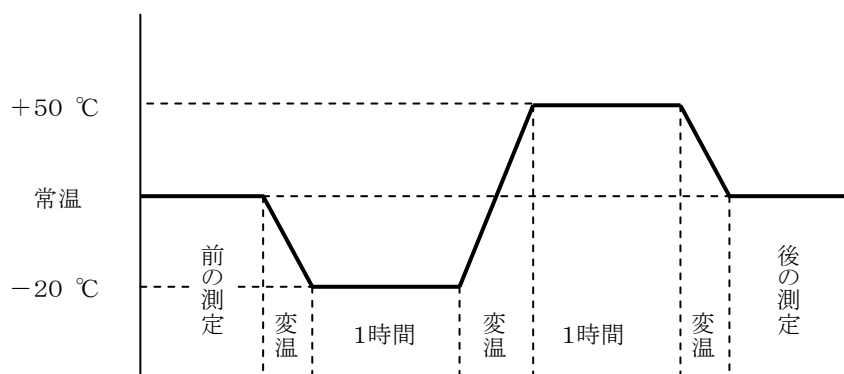


図1 耐熱耐寒試験の順序

- d) 耐湿性は、NDS C 0110の3.7.2による湿度試験を行い、2.3.3c)の通話動作に異常があってはならない。ただし、NDS C 0110の図5にかえて、次の図2を適用する。

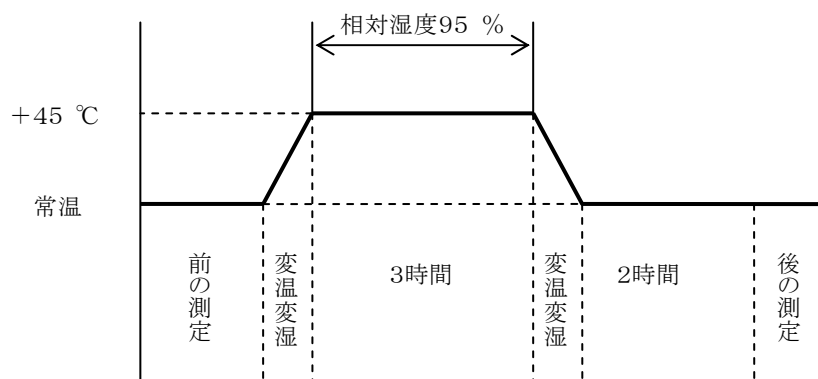


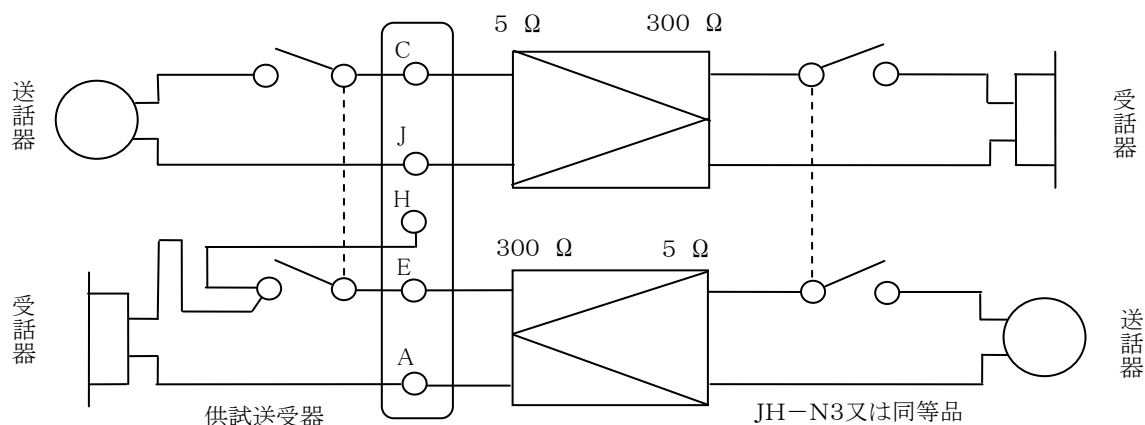
図2 耐湿試験の順序

- e) 防滴性は、NDS C 0110の3.9.2による防滴試験を行い、2.3.3c)の通話動作に異常があってはならない。ただし、試験は、送受器のスイッチカバー側を下向きとして、上方から1時間注水し、注水後、水分を振り切ってから通話動作を行う。

2.3.3 電気的性能

電気的性能は、次による。

- a) 絶縁抵抗は、接せんの端子とスイッチ取付板との間を直流250 V絶縁抵抗計で測定し、10 MΩ以上とする。
- b) 絶縁耐力は、a)と同じ箇所を直流500 Vを1分間加えて異常があつてはならない。
- c) 通話動作は、**図3**の通話試験回路によって送受器のスイッチを押して相互通話を行い、通話に異常がなく、かつ通話が明りようなこと。



注記 増幅器の特性は、次による。

- | | |
|----------------------|--|
| 1 入力インピーダンス(1 000Hz) | 5 Ω |
| 2 出力インピーダンス(1 000Hz) | 300 Ω |
| 3 利得 | 60 dB以上 |
| 4 周波数特性 | 300 Hz, 600 Hz, 3 000 Hz 及び6 000 Hz で 1 000 Hz 基準+1 dB~-3 dB (条件:利得60 dB以上) |
| 5 ひずみ率(1 000Hz) | 5 %以下(条件:利得60 dB以上) |

図3—通話試験回路

2.4 製品の表示

製品の表示は、次によるほか**付図2**による。

- a) 形式を表す表示は、“JH-N3”と表示する。
- b) 製造者を表す表示は、製造社名、製造者の略号又は製造者の記号で表示する。

3 品質保証

3.1 試験方法についての共通的条件

試験についての共通的条件は、NDS C 0110による。

3.2 検査

検査は、表2によるほか契約担当官等の定める監督・検査実施要領による。

表 2－検査

| 項 目 | | 試験方法及び判定基準 |
|--|-------|---------------|
| スイッチ動作圧力 | | 2.3.1 による。 |
| 環境条件に 対する性能 ^{a)} | 耐振性 | 2.3.2 a) による。 |
| | 耐衝撃性 | 2.3.2 b) による。 |
| | 耐熱耐寒性 | 2.3.2 c) による。 |
| | 耐湿性 | 2.3.2 d) による。 |
| | 防滴性 | 2.3.2 e) による。 |
| 電氣的性能 | 絶縁抵抗 | 2.3.3 a) による。 |
| | 絶縁耐力 | 2.3.3 b) による。 |
| | 通話動作 | 2.3.3 c) による。 |
| 注 ^{a)} 契約担当官等が認めた場合は、環境条件に対する性能の検査の項目を省略することができる。 | | |

4 出荷条件

4.1 包装

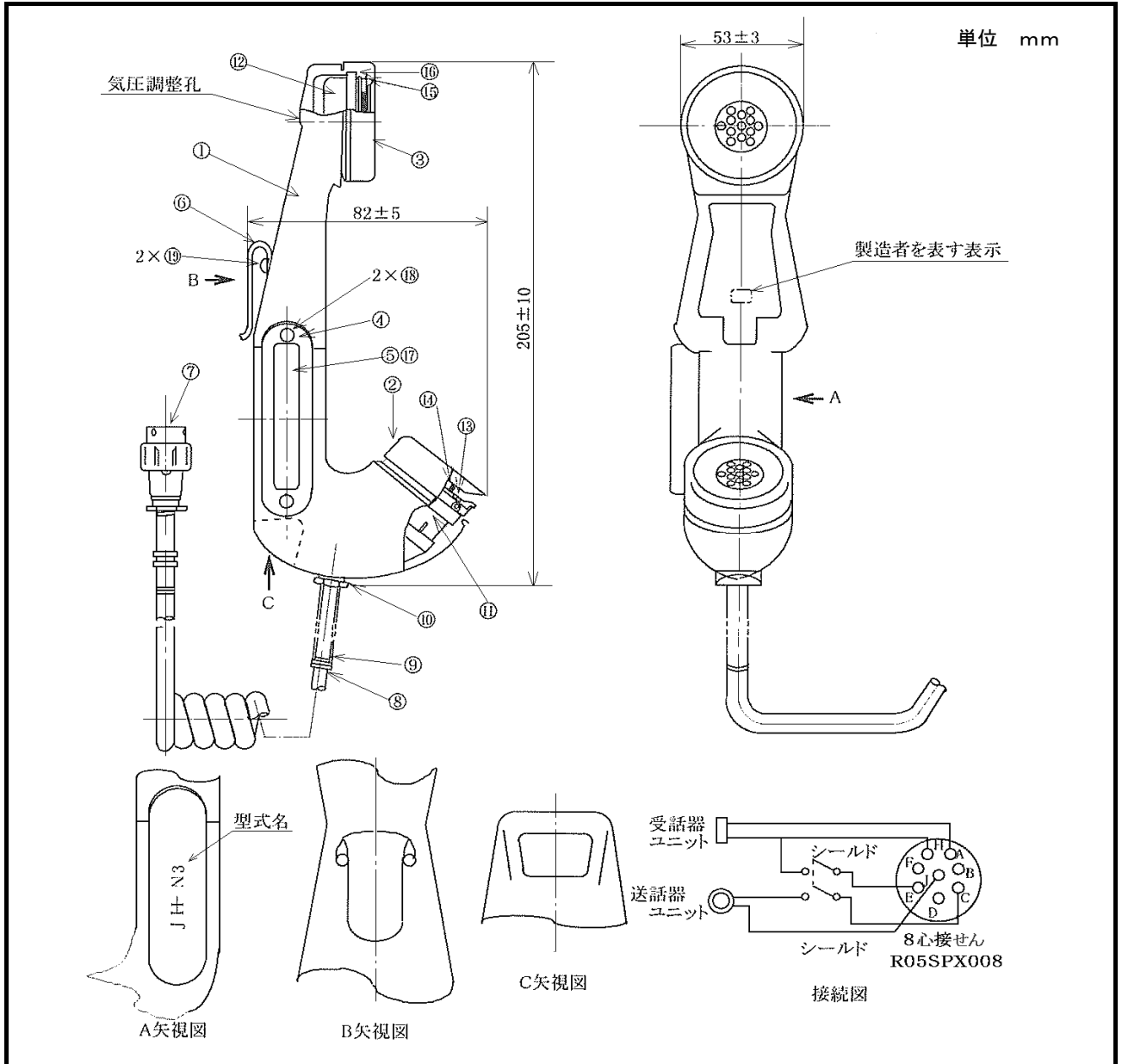
包装は、調達要領指定書によって指定する場合を除き、商慣習による。

4.2 包装の表示

包装の表示は、調達要領指定書によって指定する場合を除き、NDS Z 0001の5.による。

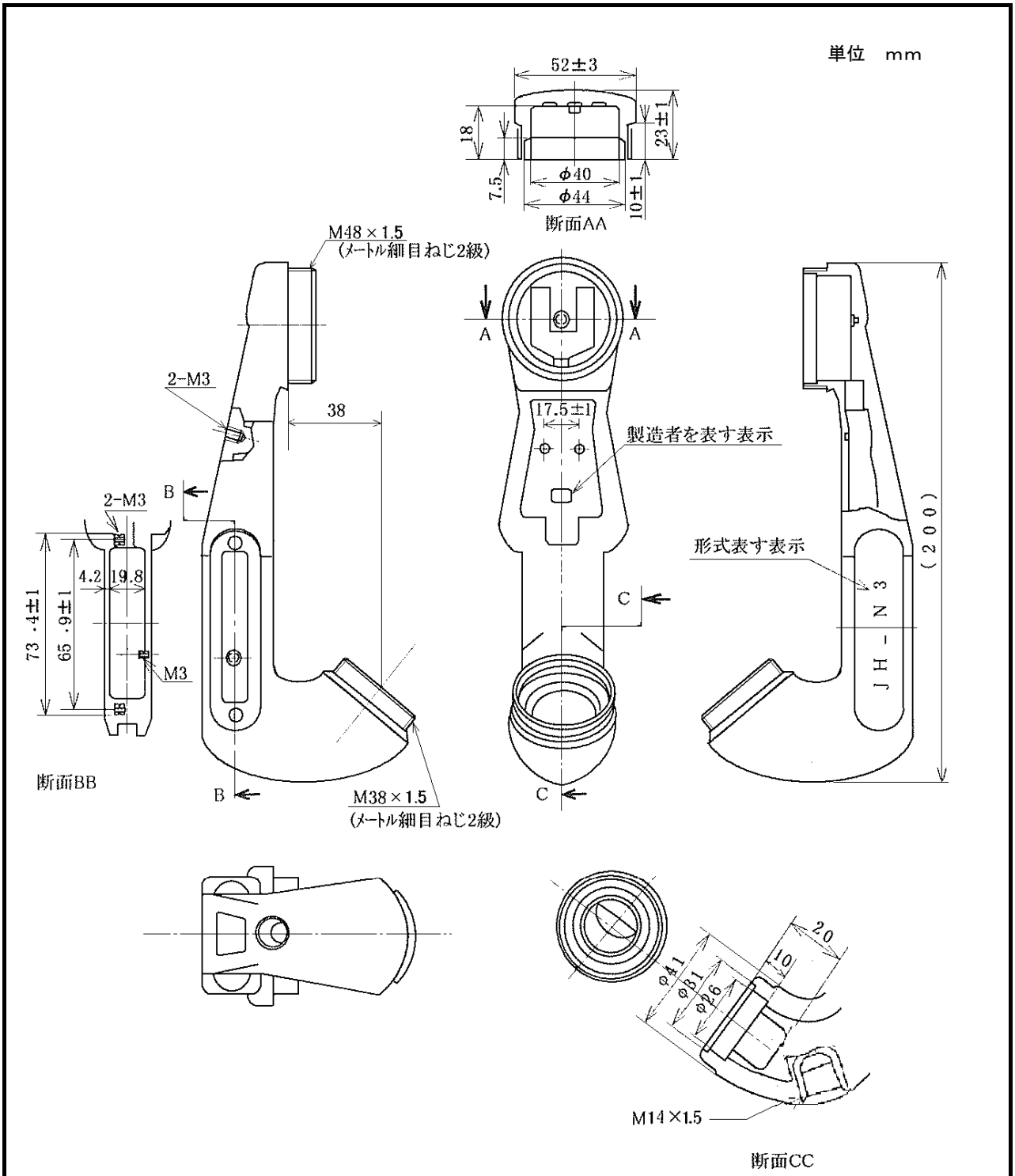
5 その他の指示

契約の相手方は、製作に先立ち承認用図面を提出し、契約担当官等の承認を受けなければならない。



| | | | | | | | | | | | |
|----|-----------------|------|---|---|---------------------------------|----|----------------|------|-----------------|---|------|
| 10 | 特殊ナット | — | — | 1 | — | 19 | 十字穴付 なべ小ねじ | — | M3×0.5×6 黄銅 | 2 | 黒仕上げ |
| 9 | 保護ばね | — | — | 1 | — | 18 | 十字穴付 なべ小ねじ | — | M3×0.5×10 黄銅 | 2 | 黒仕上げ |
| 8 | ら旋キャブ タイヤコード | 付図 7 | — | 1 | — | 17 | スイッチ | 付図 8 | — | 1 | — |
| 7 | 接せん | — | — | 1 | CNR05SPX018008W (JIS C 5432) | 16 | Oリング(受) | — | — | 1 | — |
| 6 | クリップ | — | — | 1 | — | 15 | しゃへい板 組立(受) | — | — | 1 | — |
| 5 | ゴムカバー | 付図 6 | — | 1 | — | 14 | Oリング(送) | — | — | 1 | — |
| 4 | 取付板 | 付図 5 | — | 1 | — | 13 | しゃへい板 組立(送) | — | — | 1 | — |
| 3 | 受話口 | 付図 4 | — | 1 | — | 12 | 受信器 エレメント | — | — | 1 | — |
| 2 | 送話口 | 付図 3 | — | 1 | — | 11 | 送信器 エレメント | — | — | 1 | — |
| 1 | 握り | 付図 2 | — | 1 | — | | | | | | |

| 番号 | 品名 | 図番 | 材料 | 数量 | 注記 | 番号 | 品名 | 図番 | 材料 | 数量 | 注記 | |
|-------|-----|----|--------------|----|----|----|----|----|----|----|----|--|
| 図番 | 付図1 | 名称 | 送受器(車両無線機器用) | | | | 尺度 | — | | | | |
| 防 衛 省 | | | | | | | | | | | | |



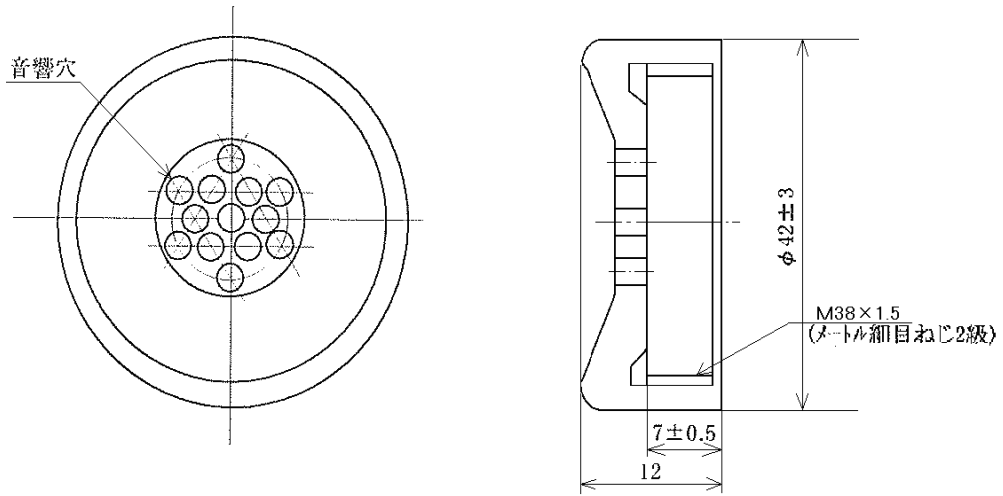
注記1 材料は、黒合成樹脂とする。

注記2 形式を表す表示文字は、丸ゴシック体とし、浮き出しとする。

注記3 ()は、参考寸法を示す。

| | | | | | |
|----|-----|----|----|----|---|
| 図番 | 付図2 | 名称 | 握り | 尺度 | — |
| 防 | | | 衛 | 省 | |

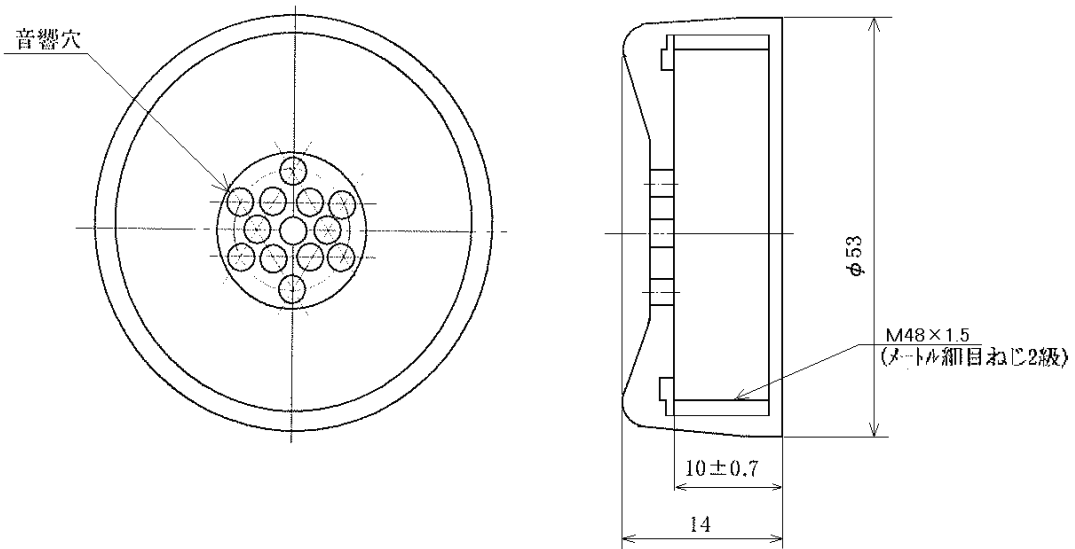
単位 mm



注記 材料は、黒合成樹脂とする。

付図3 - 送話口

単位 mm

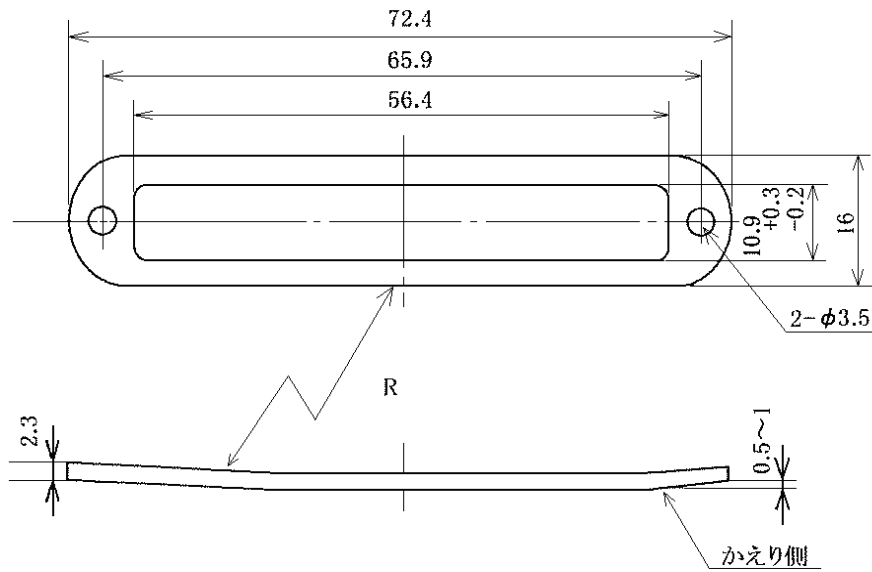


注記 材料は、黒合成樹脂とする。

付図4 - 受話口

| | | | | | |
|-------|----------|----|----------|----|---|
| 図番 | 付図3, 付図4 | 名称 | 送話口, 受話口 | 尺度 | — |
| 防 衛 省 | | | | | |

単位 mm

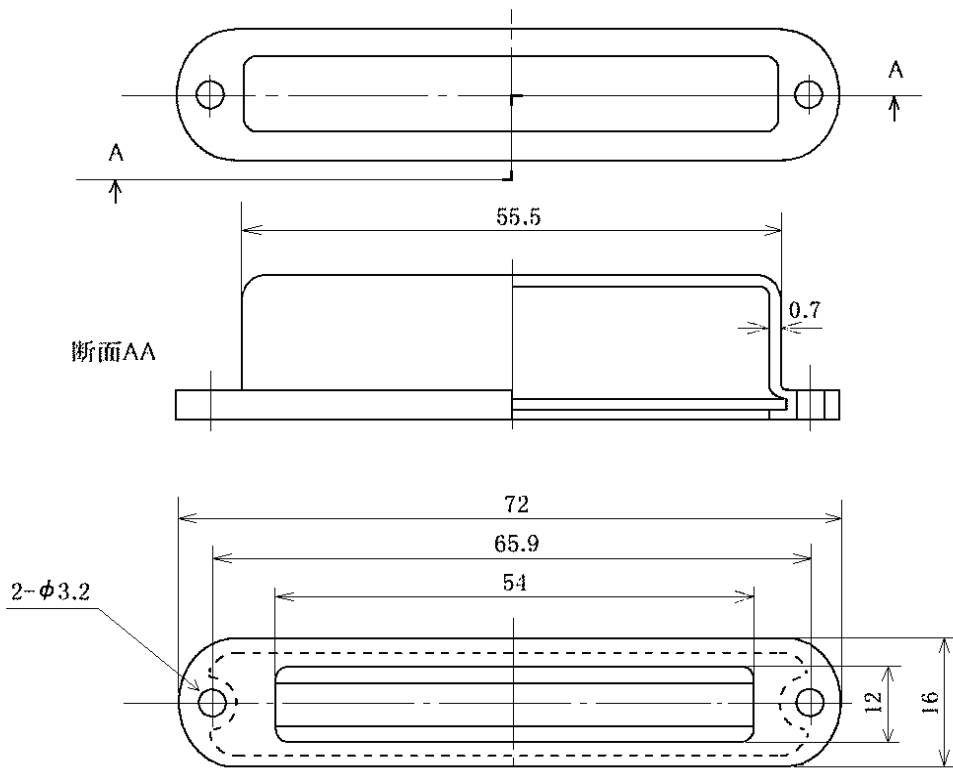


注記1 材料は、ばね鋼とする。

注記2 仕上げは、黒仕上げとする。

付図5 - 取付板

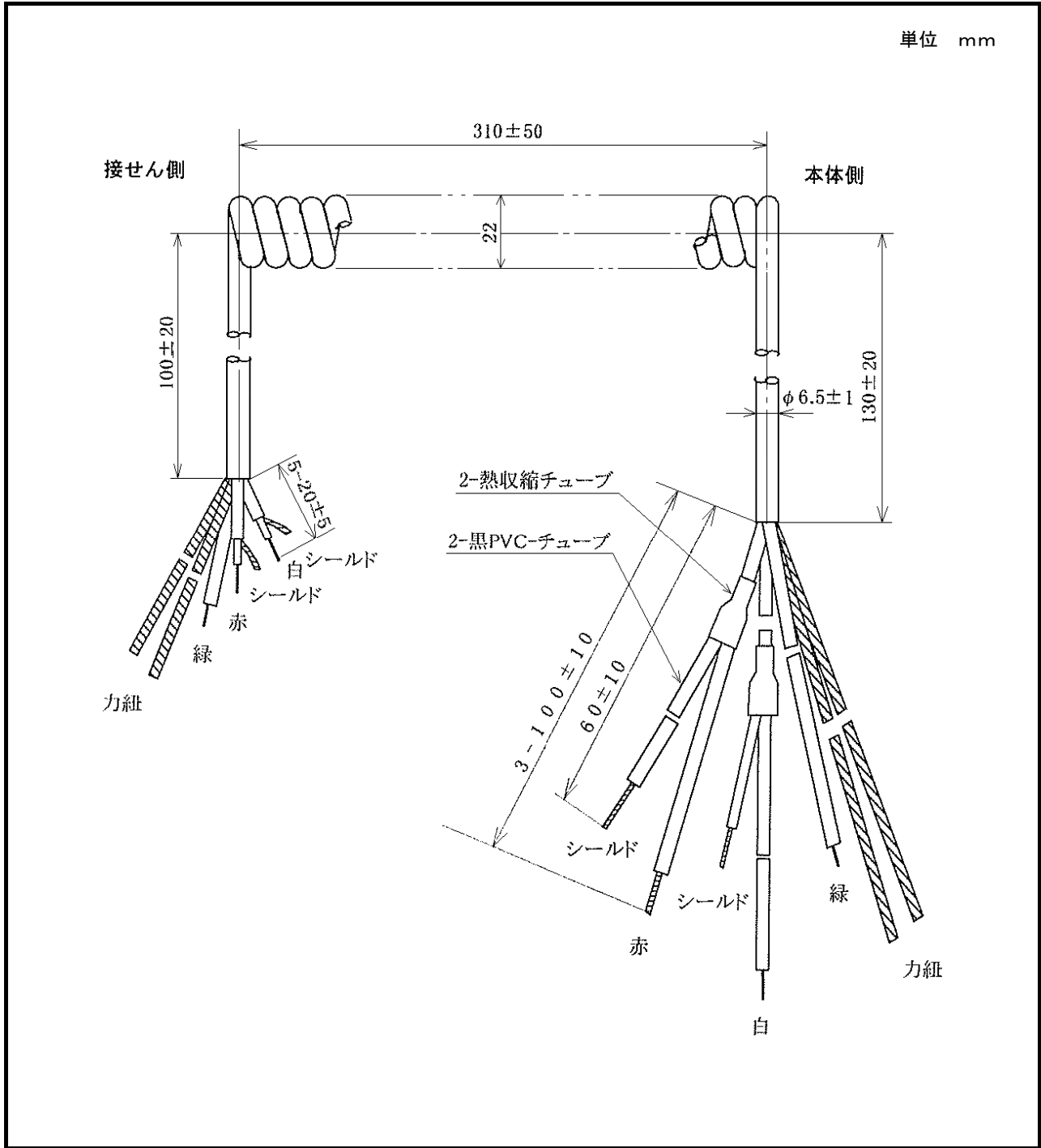
単位 mm



注記 材料は、黒合成ゴムとする。

付図6 - ゴムカバー

| | | | | | |
|-------|----------|----|------------|----|---|
| 図番 | 付図5, 付図6 | 名称 | 取付板, ゴムカバー | 尺度 | — |
| 防 衛 省 | | | | | |



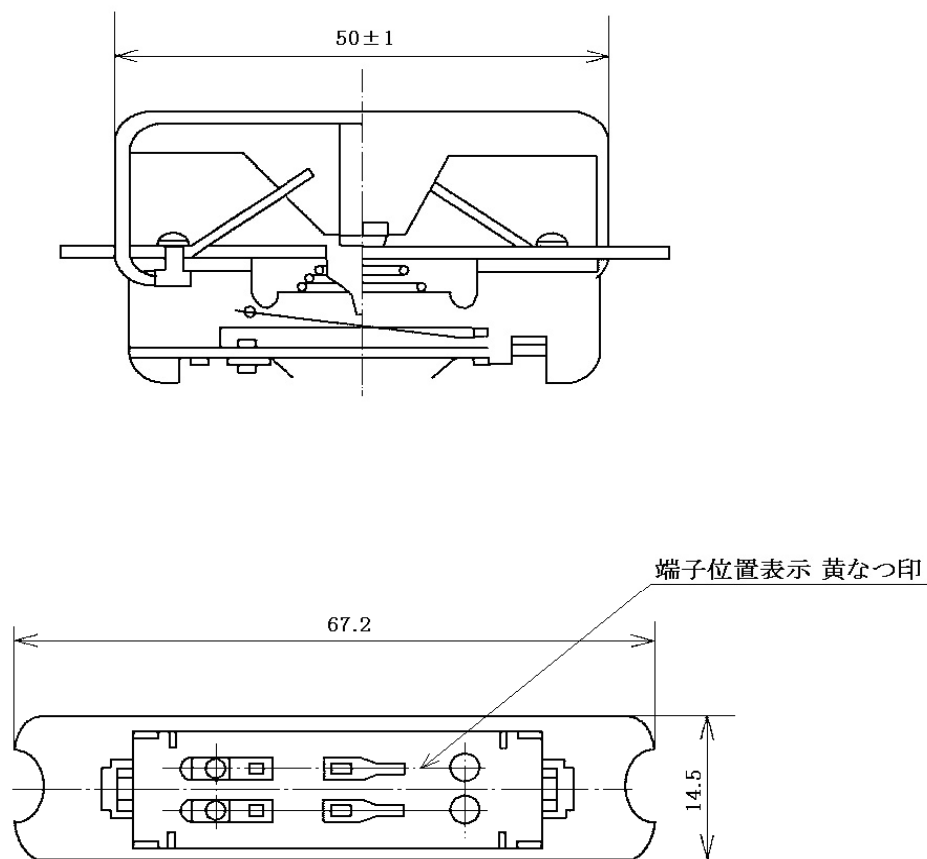
| | | |
|---|--------|-------------------------------|
| 6 | 絶縁耐力 | 各心線間に直流500 Vを1分間加えて異常のないこと。 |
| 5 | 絶縁抵抗 | 各心線間に直流250 Vを加えて10 MΩ以上であること。 |
| 4 | シース | 合成樹脂・黒 |
| 3 | 心線仕上外形 | 1.3 ± 0.5 |
| 2 | 絶縁体 | 塩化ビニール・色は、図による。 |
| 1 | 導体 | 30/0.08軟銅より線 |

| 番号 | 品名 | | 注記 | | |
|-------|-----|----|-------------|----|---|
| 図番 | 付図7 | 名称 | ら旋キャブタイヤコード | 尺度 | — |
| 防 衛 省 | | | | | |

10.

C 5013E

単位 mm



注記 1 スイッチの接点接触抵抗は、ダブルブリッジで測定し、50 mΩ以下であること。

注記 2 スイッチの寿命試験は、200 mAを通し、毎秒2回の開閉を10 000回行って動作に異常のないこと。

注記 3 接点材質は、PGS合金又は同等品であること。

注記 4 スイッチ動作圧力は、本体に組み込み10.8 N±4 Nであること。

注記 5 絶縁抵抗は、端子と外周金属間で直流500 V絶縁抵抗計で測定し、10 MΩ以上であること。

注記 6 絶縁耐力は、注記 5 の測定箇所直流500 Vに1分間耐えること。

| | | | | | |
|-------|-----|----|------|----|---|
| 図番 | 付図8 | 名称 | スイッチ | 尺度 | — |
| 防 衛 省 | | | | | |